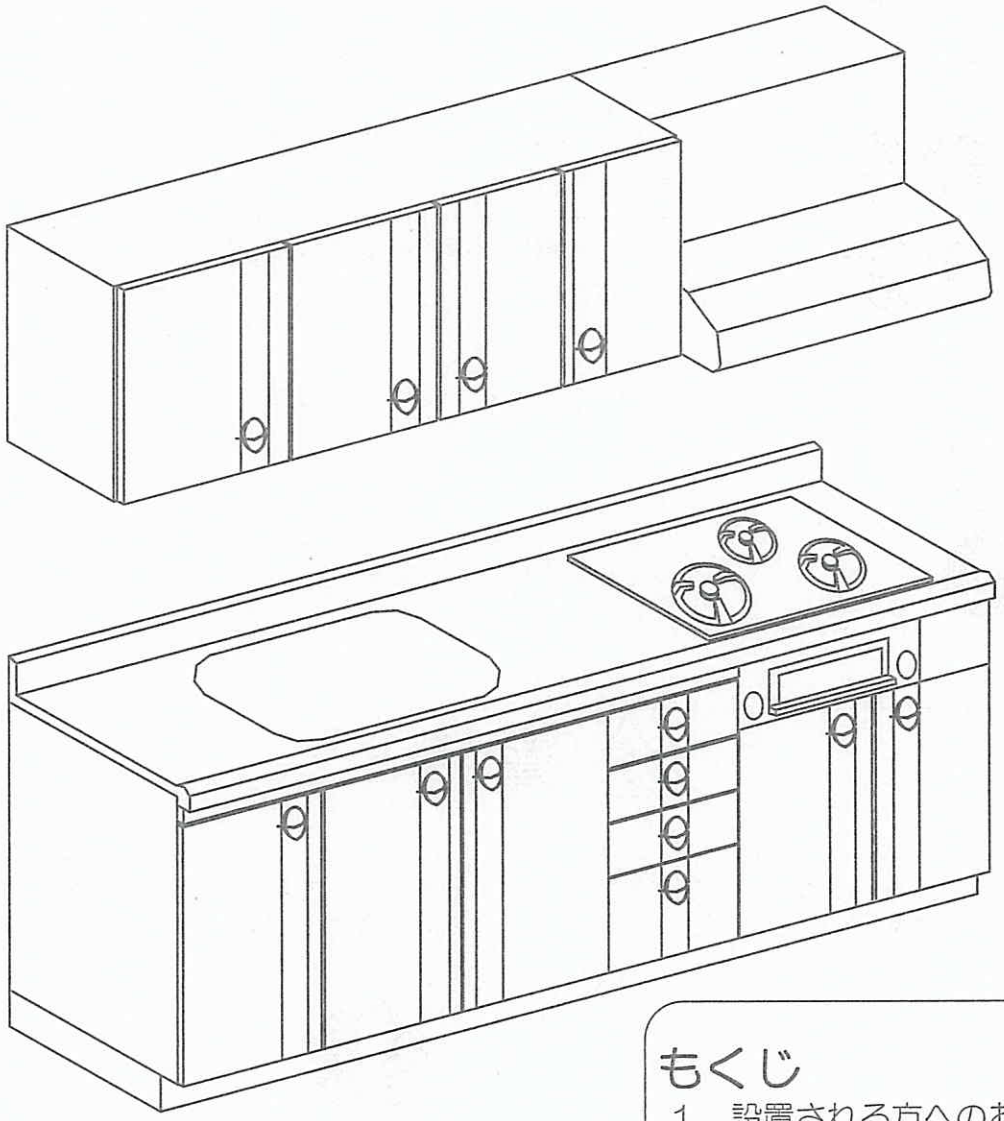
タカラ　カンタン取替！

ホーローシステムキッチン設置説明書



もくじ

1．設置される方へのお願い……1
2．安全上のご注意…… 2～3
3．設置前のご確認…… 4～5
4．設置方法…… 5～11
5．仕上げ…… 12
6．安全点検および試運転…… 12
7．お願い事項…… 12

1．設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、ワークトップおよびフロアベースキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。
- ワークトップ高さが820㎜以外の場合は、台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

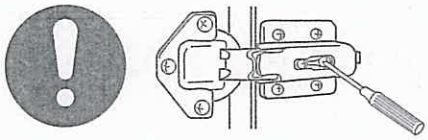
接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

加熱機器周りの壁面仕上については、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上げであることを、必ず確認してください。

下地処理が不十分な場合は、火災の原因になることがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

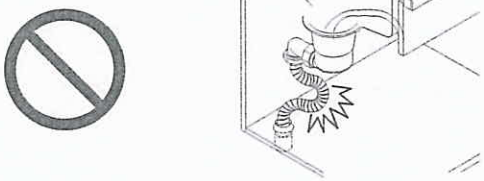
排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないよう、正しく取付けてください。

取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないよう十分注意してください。

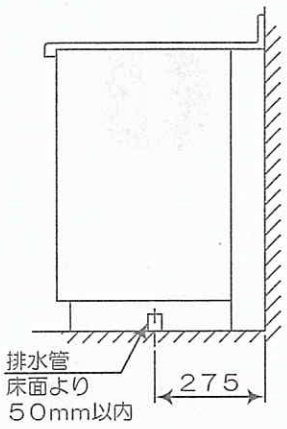
設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より
6～7mm以上長いことを確認してください。
●下記の項目についてその位置を確認してください。
（1）排水管位置
（2）建築側のガス管
電気配線接続位置
（3）レンジフードの排気口位置
（4）機器類の電気配線位置

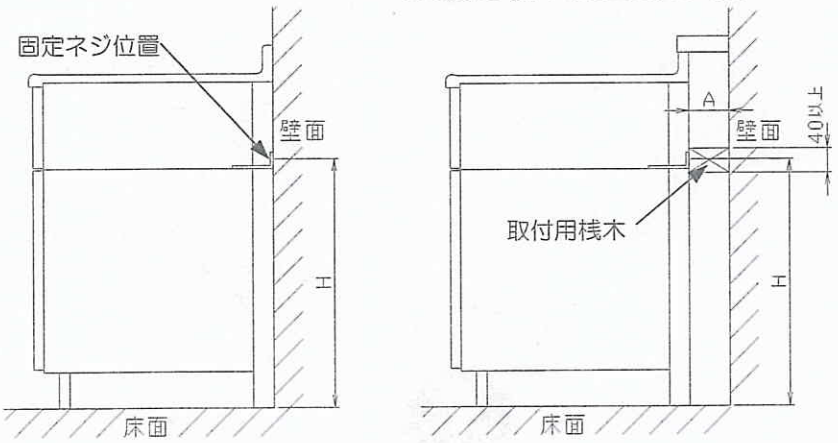
※壁面とキャビネットとの間にタイル等が設置される場合は左記の排水位置に、その厚み分を加えてください。



●ガス種、電圧（100V、200V）、周波数（50Hz、60Hz）
を確認してください。
●オプション品については、付属の説明書をお読みください。

<スライドタイプコンロキャビネットの場合>
●キャビネット固定位置の壁面下地が十分な強度を有するかを確認してください。
●キャビネットが壁面より離れて設置される場合は、取付用桟木（下図A寸法に合わせた
木質材 巾40mm以上:現場手配）をネジ等で取付けてください。

<壁面より離れて設置される場合>



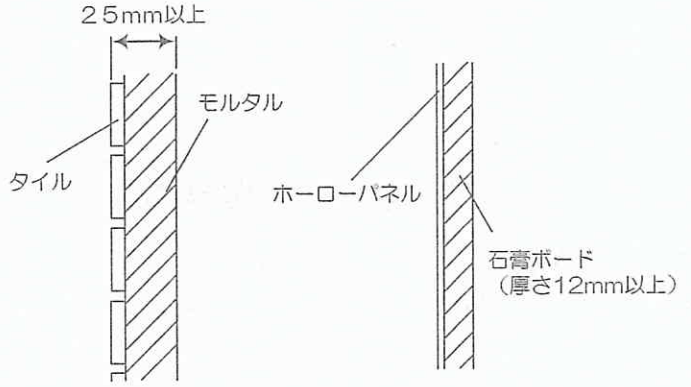
天板高さ（mm）	H寸法（mm）
820	610
870	660

●各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。

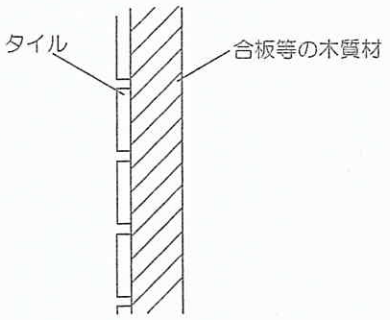
機　種	内　容	数量
ワークトップ	排水パイプ 排水管アダプター 排水プレート	1 1 1
シンクキャビネット	排水トラップ 点検口蓋 排水蓋 スペーサーU 台輪テープ フロアキャビネット用設置説明書（本書） フロアキャビネット用取扱説明書 吊戸棚用取扱・設置説明書 ネジ・金具類	1 1 1 2 1 1 1 1 一
コンロキャビネット	側板 前飾板（70間口コンロキャビネットのみ） 回転防止金具（扉タイプのみ） 前倒れ防止金具（スライドタイプのみ） 板ナット ネジ類	1 1 1 1 1 一

加熱機器周りの壁面仕上については、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上げであることを、必ず確認してください。有効な防火性能を有さない仕上げの場合は別売部品の防熱板を必ず設置してください。

＜有効な防火性能を有する仕上例＞



＜有効な防火性能を有さない仕上例＞



4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. 吊戸棚・レンジフードの取付 → 2. 台輪スペーサーの取付 → 3. 付属部品の取付 → 4. 側板スペーサーの取付 → 5. ベースキャビネットの設置 → 6. 排水部品の取付 → 7. ワークトップの設置 → 8. 加熱器具の設置 → 9. 排水管の接続工事 → 10. その他部品の取付 → 11. 扉の調整

1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、シンクキャビネット付属の設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

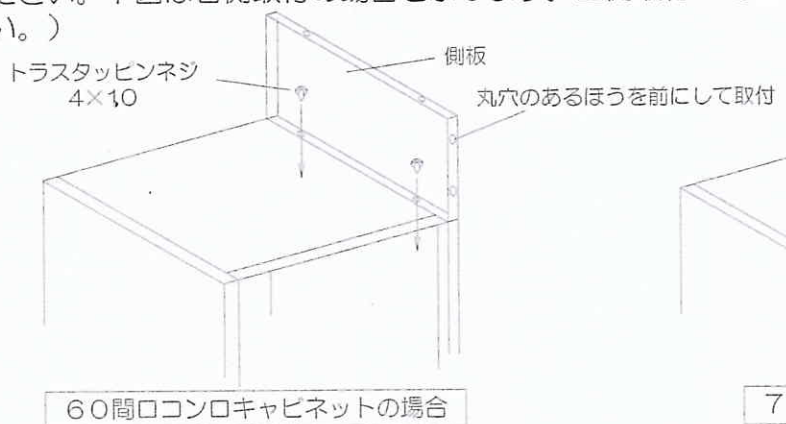
2. 台輪スペーサーの取付（ワークトップ高さ820㎜以外の場合のみ）

台輪スペーサー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

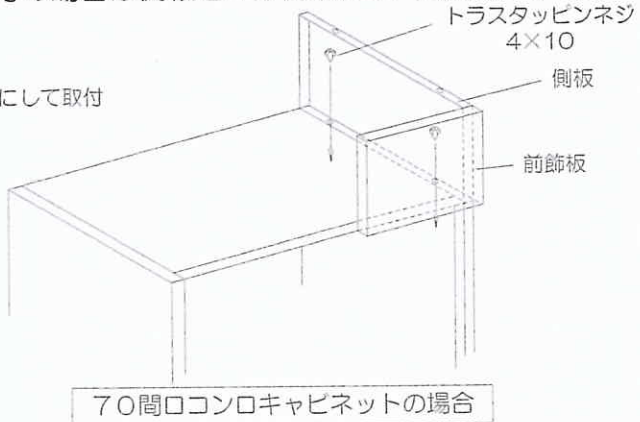
3. 付属部品の取付

【1．側板の取付】

コンロキャビネットのエンド側に側板を取付けてください。（側板には前後がありますので注意してください。下図は右側取付の場合を示します。左側取付の場合は側板を上下反転させて取付けてください。）



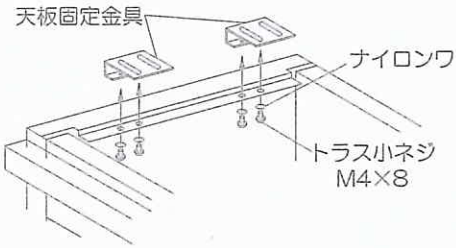
60間口コンロキャビネットの場合

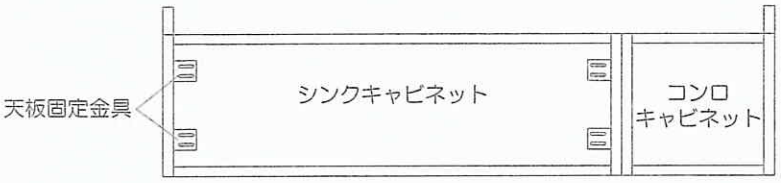


70間口コンロキャビネットの場合

【2．天板固定金具の取付】

シンクキャビネット両端の側板に天板固定金具を取付けてください。

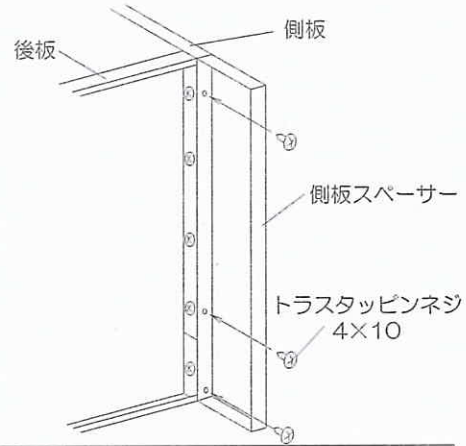




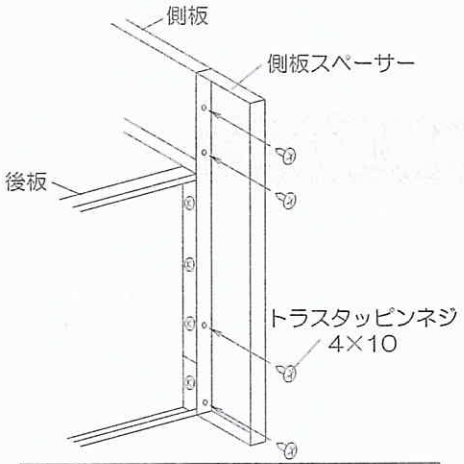
4．側板スペーサー〔別売部品〕の取付（オープンセットの場合のみ）

オープン側の側板に側板スペーサーを取付けてください。

（側板スペーサーには上下があります。側板後木口の穴に合わせて取付けてください。）



シンクキャビネットの場合

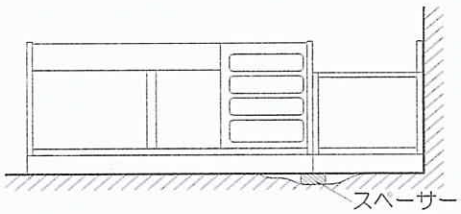


コンロキャビネットの場合

5．ベースキャビネットの設置

【1．キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きして、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【2．スペーサーUの貼付】

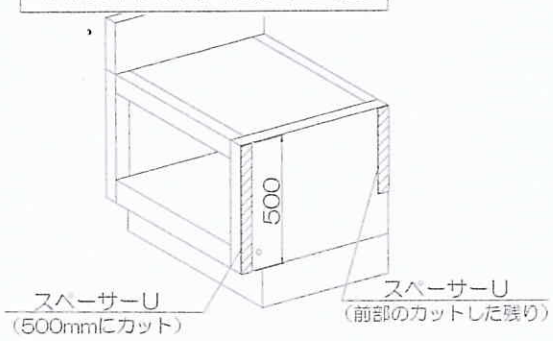
仮置きしたキャビネット間口を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサーU（t2.5mm）をキャビネットに貼付けます。

① キャビネット間に貼付けてください。

② ①でも足りない場合は、クローズ側のセット端に貼付けてください。

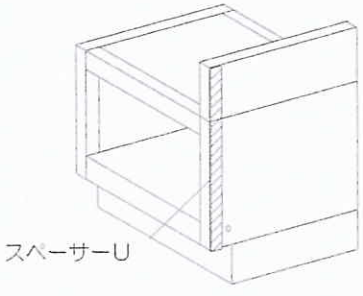
注）キャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。

キャビネット間に貼付ける場合



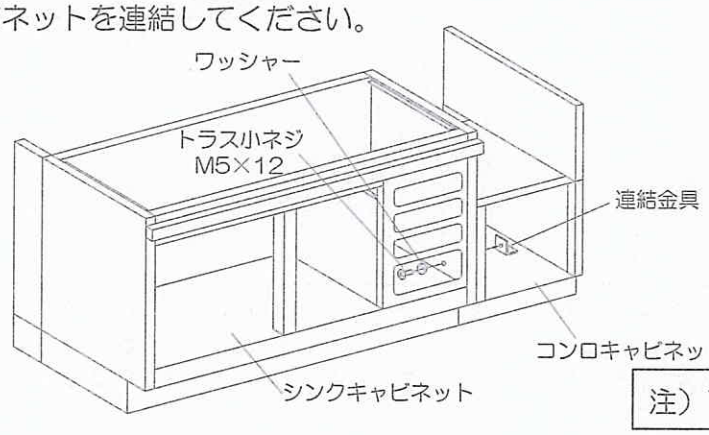
コンロキャビネット

クローズ側のセット端に貼付ける場合



【3. キャビネットの連結】

キャビネットを連結してください。

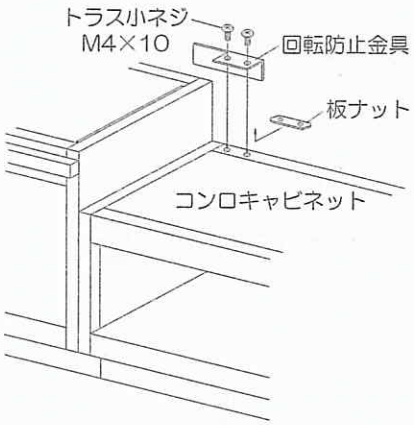


注）下部１箇所のみ連結してください。

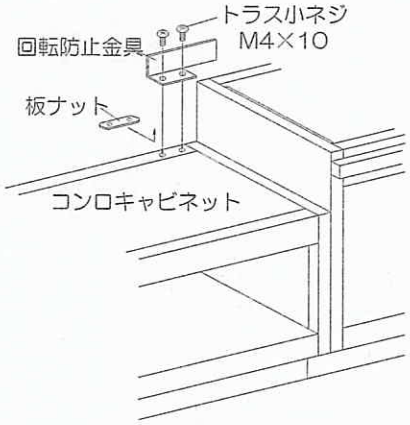
【4. 前倒れ防止金具の取付】

＜コンロキャビが扉タイプの場合＞

回転防止金具をキャビネットの後板に取付けてください。



左側に設置の場合

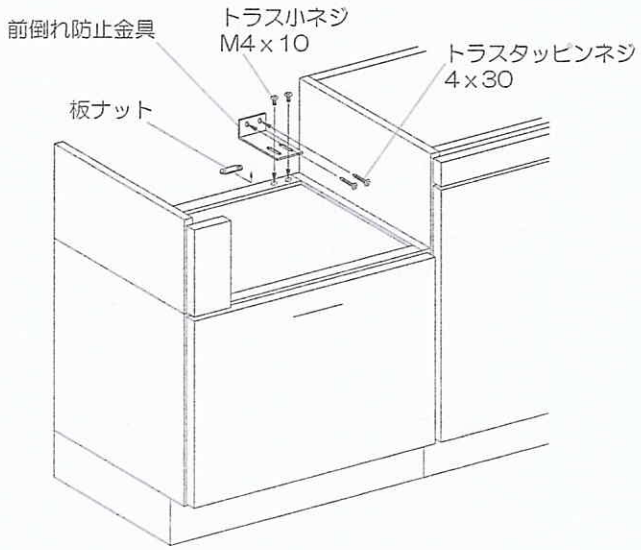


右側に設置の場合

＜コンロキャビがスライドタイプの場合＞

①壁面までの寸法に合わせて、前倒れ防止金具をキャビネットの後板に取付けてください。

②前倒れ防止金具を壁面に固定してください。

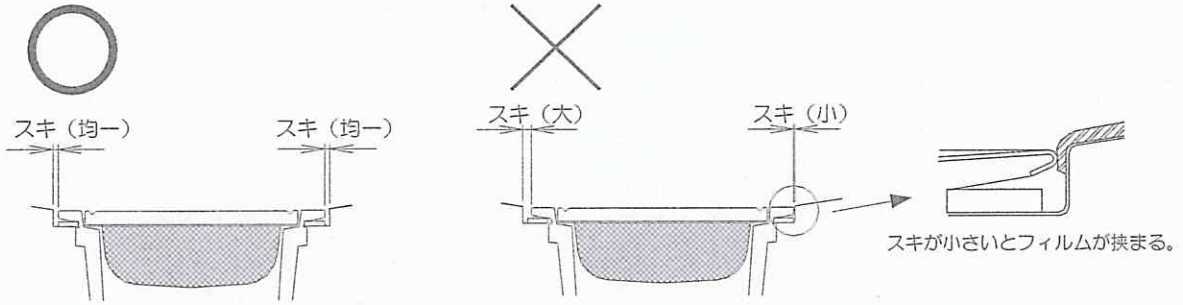


6．排水部品の取付

【1．排水部品取付前の準備】

①トラップ取付部のフィルムをはがしてください。
②取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注）1．トラップ取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れのおそれがあります。
2．トラップ取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所でフィルムが挟まり、取り難くなります。

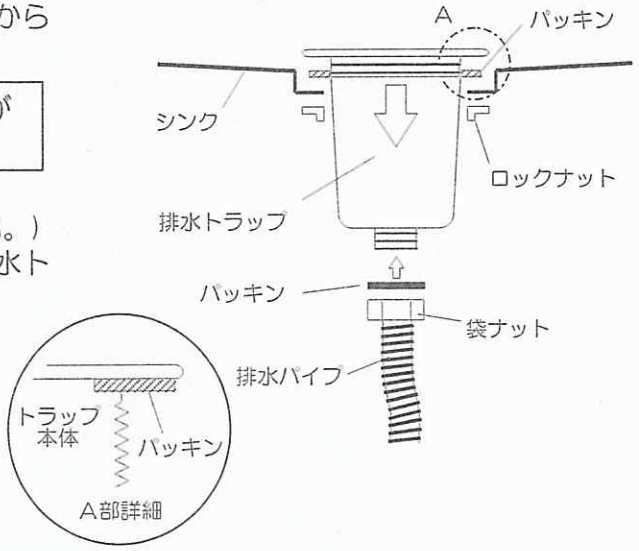


【2．排水部品の取付】

①排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）トラップ本体のパッキン溝部にパッキンが確実に収まっているか確認してください。

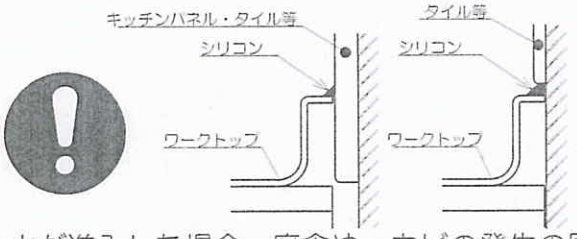
②ロックナットを締め付けてください。
（ロックナット締付工具は別途手配してください。）
③排水パイプにパッキンを取付け、袋ナットで排水トラップに取付けてください。



7．ワークトップの設置

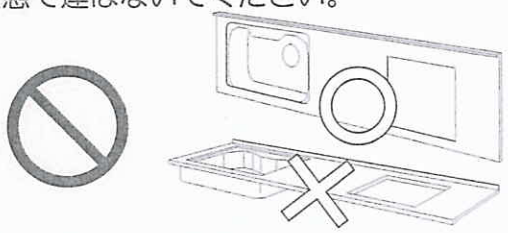
⚠ 作業上の注意事項

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビの発生の原因になるおそれがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。

設置作業中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。

製品が変形・破損するおそれがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合ダンボール等で養生を行ってください。

壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。

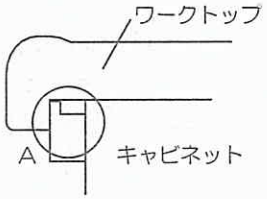
シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。

製品が変形・変色するおそれがあります。

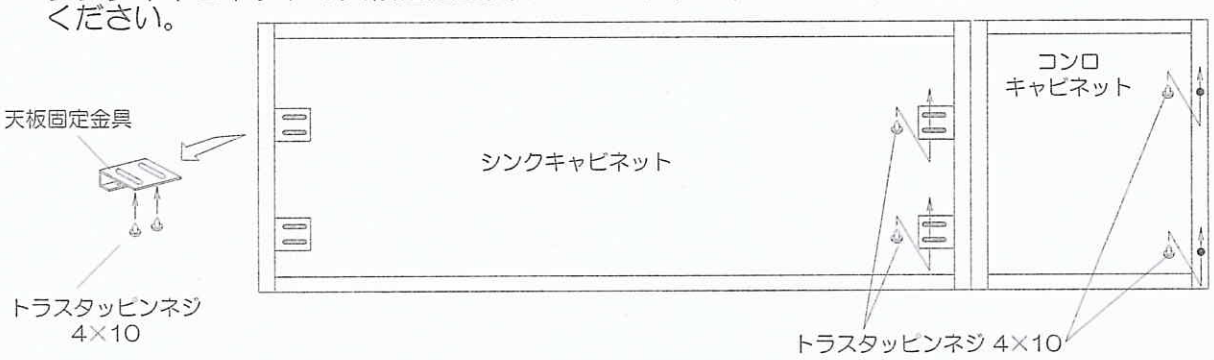
【1．ワークトップの取付】

①ワークトップの仮置き
ワークトップをキャビネットにのせてください。

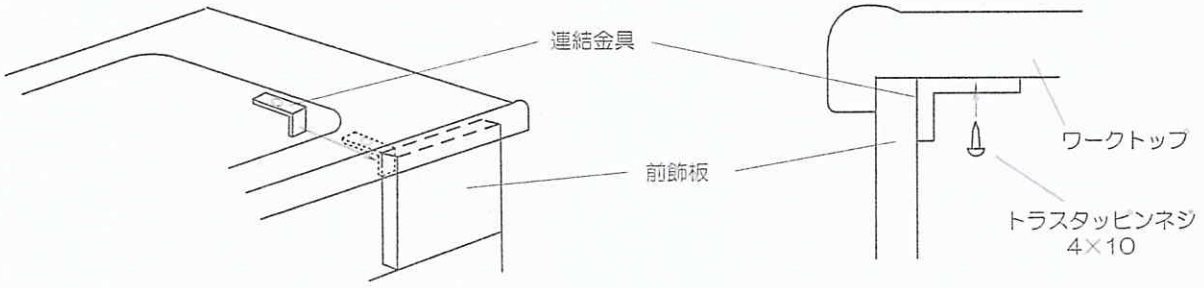
注）キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間（A部）にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。



②ワークトップの固定
シンクキャビネットの天板固定金具とコンロキャビネットの側板より、ワークトップを固定してください。



③コンロキャビネット前飾板の固定（７０間口コンロキャビネットの場合のみ）
前飾板をワークトップ前下り部に押しつけた状態で、連結金具を固定してください。

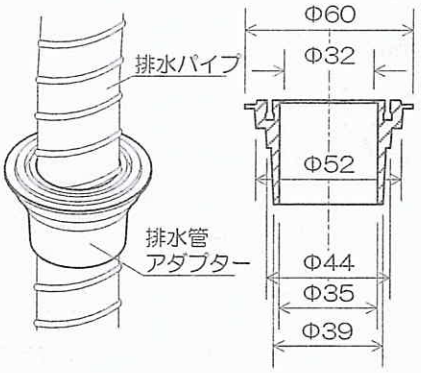


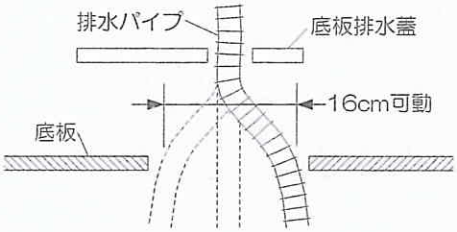
8．加熱器具の設置

加熱器具に付属の設置説明書にしたがって行ってください。

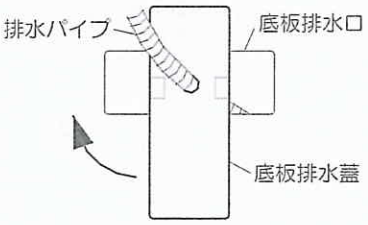
9．排水管の接続

①排水パイプを排水蓋に通し、排水管アダプターを取付けてください。
②排水管アダプターを下水管に差し込み、隙間のないように完全にシールしてください。排水管アダプターはＶＰ-40（内径φ40）、ＶＵ-40（内径φ44）、ＶＰ-50（内径φ51）の排水管に接続できます。
③排水蓋をキャビネットの底板に取付けてください。

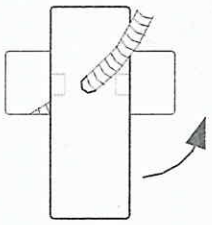




＜排水管が右よりの場合＞
底板排水蓋を右に回して固定してください。

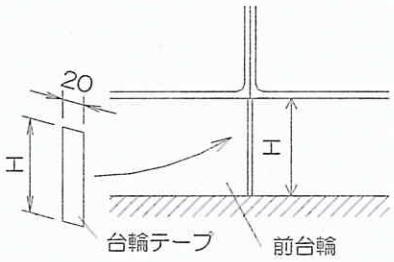


＜排水管が左よりの場合＞
底板排水蓋を左に回して固定してください。

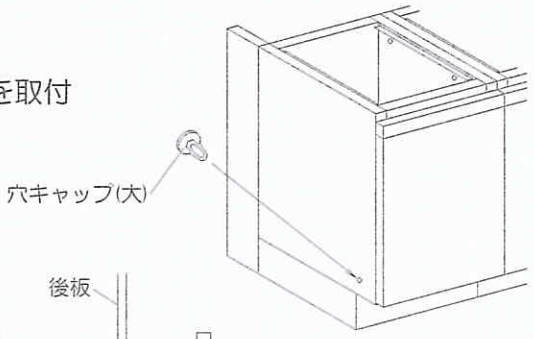


１０．その他部品の取付

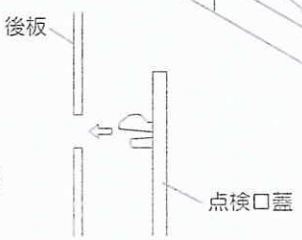
【1．台輪テープの取付】
台輪テープをHmm（台輪高さ）に切断し、キャビネット間の前台輪の継ぎ目をふさぐように貼付けてください。



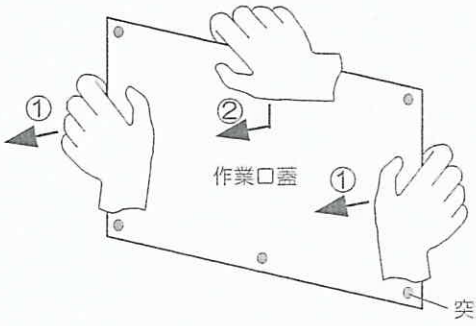
【2．穴キャップの取付】
オープンセットの場合は、オープン側の側板に穴キャップを取付けてください。



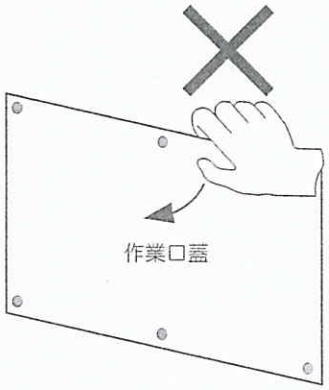
【3．点検口蓋の取付】
シンクキャビネットの後板に点検口蓋を取付けてください。



点検口蓋をはずす場合は、以下の要領で行ってください。
①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて４隅の突起をはずしてください。
②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口蓋をはずしてください。



注）右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



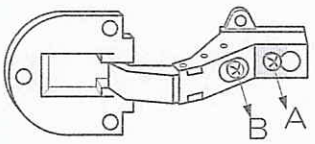
11．扉の調整

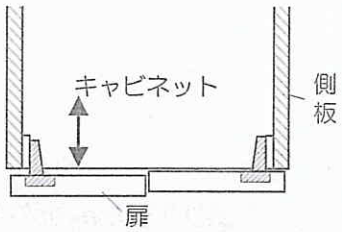
【1．丁番の調整のしかた】

＜スライド丁番の場合＞

①前後調整

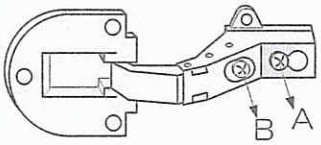
Aのネジを緩め、丁番を移動させて調整してください。

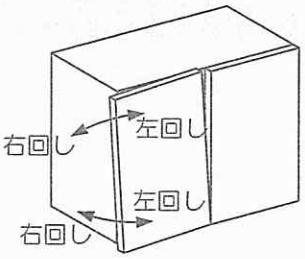




②左右調整

Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締め込んでください。



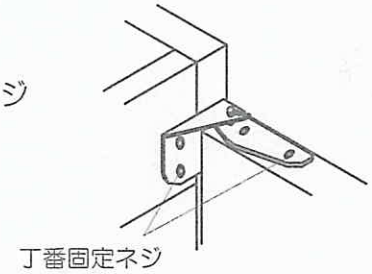


扉の調整が終わったら、Aのネジをしっかり締め込み、扉にガタツキがないことを確認してください。

＜軸丁番の場合＞

●扉ガタツキの修正方法

扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかり締め込んでください。



【2．スライド扉の調整のしかた】

①上下方向の調整

固定ネジをゆるめ、上下調整ネジを回すと扉が上下に動きます。
調整後、固定ネジを締め直してください。

②左右方向の調整

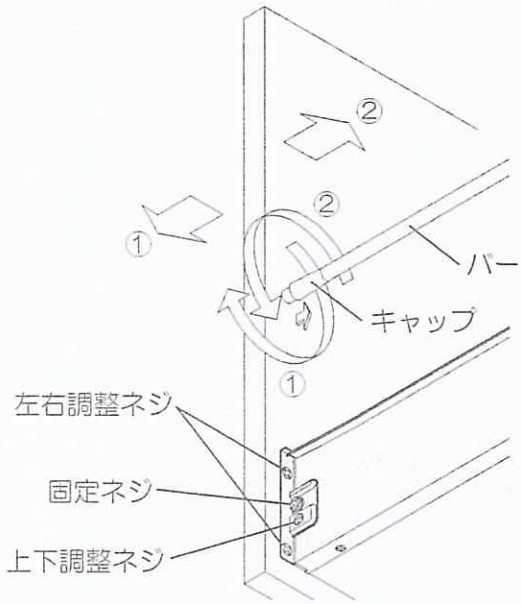
左右調整ネジをゆるめることにより、扉が左右に動きます。調整後、ネジを締め直してください。

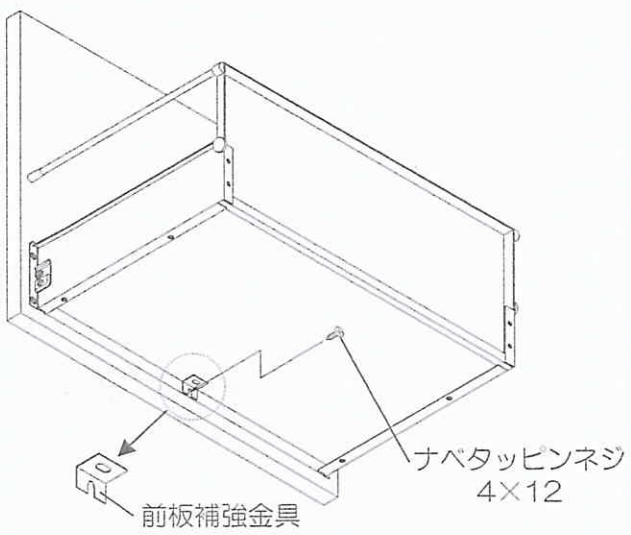
③前後方向(角度)の調整

左右のバーに付いているキャップを、少し引き抜いた状態で左右に回すと扉の傾きが調整できます。

④仕上げ

各調整終了後、引出裏面より前板補強金具を介してネジで固定してください。





5. 仕上げ

【1．コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2．清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1．安全点検】

①扉の確認
　扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。
②排水部の確認
　排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2．組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1．商品の養生】

すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2．取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3．梱包材その他設置用部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL 06－6962－1531

151878
9C－2